



長崎市私立幼稚園

PTA 連合会だより

増刊号!

発行所
長崎市私立幼稚園PTA連合会
発行人 広報委員会
発行
2020年12月1日



いつものお弁当集めてみました

大きくなるよ!
いただきます

【増刊号の発行にあたり】

長崎市私立幼稚園PTA連合会では、例年開催しております、5月の総会を新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止いたしました。そして、この度11月に開催を予定しておりました『令和2年度教育研修大会』につきましても、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、皆様の安全を第一に考慮した結果、開催の中止を決定いたしました。

「新しい生活様式」に戸惑いながらも今後の活動の在り方について考えていく中、講演会や教育研修大会に代わり、会員の皆様の生活・子育てに対してヒントや手助けになるような情報を発信したいと思い、今回の『増刊号』発行となりました。

「自分のタイプ」×「子どものタイプ」

親子のタイプの違いを知ること、子どもとの関わり方のヒントがみえてくる！

キッズコミュニケーション診断ワーク

STEP 1

あなたのタイプは!?



パーソナルシード
西暦 1980 年 01 月 01 日
送信

CENTER FACE EMERGENCY
2 4 2
パーソナルシード
プロフィール

結果は「βタイプ」
※表示されている数字は無視し、診断結果はθ・β・αで進みます。

STEP 2

子どもや家族のタイプを調べよう!

θタイプ
何よりも「和」が大事!

- ◆ みんなと仲良く和気あいあいが好き ◆ ムダが多い
- ◆ プロセス(過程)重視 ◆ 相手に合わせる
- ◆ 競争・ケンカが嫌い ◆ いい人と言われたい
- ◆ 世のため人のため・信頼が大事 ◆ 話や説明が長くなる

memo

・ 長男

βタイプ
相手より「自分のペース」が一番!

- ◆ 自分の世界 ◆ 現実的 ◆ ムダが嫌い ◆ ムリをする
- ◆ ペースを乱されるのが嫌い ◆ 競争大好き
- ◆ 話は結論から聞きたい ◆ 過程より結果重視
- ◆ 自分にメリットがあると頑張れる ◆ ご褒美で動く

memo

・ パパ

αタイプ
その場の「空気感」が大事!

- ◆ ピンとくる感覚やその時の気分で行動 ◆ ムラがある
- ◆ チャホヤ大好き ◆ 枠にはめられず自由でいたい
- ◆ 細かいことは気にしないが実は繊細でナイーブ
- ◆ 察するのが得意だし察してほしい ◆ 弱音をみせない

memo

・ 義母

STEP 3

シチュエーション別 声のかけ方・関わり方事例



朝の支度編

朝の準備がスムーズにできるようになってほしい。そんな時は...

「ひとりで準備ができると、ママ助かるなあ〜」

「自分のため」より「人のため」に頑張れちゃうθちゃん。「ママのために〜」などと上手に声をかけて誘導しましょう。また「準備をするのが上手になったね!」と褒める時もプロセスに注目し、たくさん褒めて自分でできることをひとつずつ増やしてあげましょう。



お片付け編

自らお片付けができるようになってほしい。そんな時は...

「ママと一緒に、お部屋をキレイにしよう!」

なんでも「一緒に」が好きなθちゃん。「ママは掃除機かけちゃうね、θちゃんはオモチャを片付けてくれる?」などと、ママと一緒にすることが嬉しくなり、行動へと繋がります。片付けができたなら「一緒に頑張ったね! すごく嬉しいよ!」と、たくさんスキンシップしましょう。



食事編

苦手な食材が食べられるようになってほしい。そんな時は...

「〇〇を食べると、体にこんな良いことがあるよ!」

「なんで?」が好きなθちゃん。「こんな良いことがある!」とプラスの情報を伝え興味をもたせましょう(マイナス情報は逆効果)。また苦手な食材も、栄養や生産過程などのプロセスを教えることにより興味が深まって「食べてみたい!」という動機に繋がります。

「時計の長い針が6になるまでに、お着替えしよう!」

目標設定があると動きやすいβちゃん。アナログ時計を見える場所に設置し、準備を終える時間や、出発時間などを明確に提示すると有効! タイマーや時間経過を表示するアプリもオススメ。

「お片付けが終わったら、オヤツ食べよう!」

ご褒美(メリット)で頑張れちゃうβちゃん。また、自分で納得しないと動かないβちゃん。「キリが良い所でお願いね!」と声をかけてみましょう。お片付けを始めるタイミング(時間)を自分で決めることにより、納得してスムーズに動きます。

「誰が1番に食べられるかな!!」

競争に燃えるβちゃん。「1番になりたい」「負けたくない」という気持ちがとても強いので、ママや兄弟と競ったら苦手な食材を克服することができるかも。

【ママが慌ててみせる】...作戦

言葉ではなく雰囲気や空気感で察するαちゃん。ママが『大変! 寝坊しちゃった!』とバタバタ慌てて準備している姿をみせましょう。『急がなきゃいけないんだ』と空気を読ませることがスムーズな準備に導くポイント!

【褒めて、任せて、また褒める】...作戦

任せられるとやる気になるαちゃん。細かい指示より「任せよう」の一言が効果的。また、頑張っている姿は見て見ぬふりをして、片付け終わったらオーバーリアクションで褒めましょう!

【いつもと違う演出する】...作戦

ワクワクすることが大好きなαちゃん。いつもの食事を弁当箱に詰めたり、お子さまランチ風やお家バイキングなど... ついつい苦手な食材も雰囲気とノリで克服できちゃうかも。いつもと違う日常を演出してみましょう!

みんなが頑張って、みんな笑顔! ママの笑顔は子どもの笑顔

● キッズコミュニケーションとは、

統計的な個々のタイプが分かり“違う”を知ることで、子どものやる気スイッチをオンにする言葉や環境が分かります。パーソナルシード*を元に、子育て向けのコミュニケーションスキルを学ぶ講座です。

*パーソナルシード 生年月日から「個の種」の特性を導き出したもの。人には生まれながらに持っている特性(価値基準・行動パターン・自分らしいと感じる環境・思考)があり、10万3,680通りに分類される。



StepUP! <もっと知ると、もっと深い!> 3つの分類で複雑な人間関係もスッキリ

センター フェイス エマージェンシー

CENTER FACE EMERGENCY
2 4 2
リアリスト パーフェクト プロフェッサー

センター...【本質】いちばん自分らしく感じる自分
フェイス...【表面】(第一印象)見せたい・見られたい自分
エマージェンシー...【隠れ】突発的、無意識な時の自分

キッズコミュニケーション 体験講座開催中
オンライン(ZOOM)でも同時開催



“違う”を知ることで、ママの心がフッと軽くなる、楽になる。そんなきっかけになると嬉しいです。

キッズコミュニケーション 代表 大久保 綾子





助産師・思春期保健相談士

内田 美智子 先生に聞く

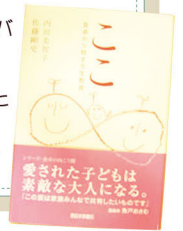
子育てQ&A

PROFILE

内田 美智子 (うちだ みちこ) 先生
1957年大分県竹田市生まれ。助産師。



1988年より内田産婦人科医院を産婦人科医の夫と共に継承。同院内で子育て支援の幼児クラブ「U遊キッズ」を主催。思春期保健相談士として思春期の子どもたちの悩みなどを聞く。九州思春期研究会事務局長、福岡県家庭教育アドバイザー。助産師になり40年、思春期の子どもたちに向き合うようになって30年が経過。現在、年間100回ほど、この世に命が誕生することがいかに奇跡なのか、これまで多くの『いのちの誕生』を取り上げてきた内田先生だからこそ語れる講演を行い、命の尊さを伝え続けています。



Q1. 子どもが間違えを気にしてばかり…。間違ふことやみんな違う考えを持つことに不安にならず、自分の意見を表現し、チャレンジできるようになるには？

これまで、間違いを指摘しすぎていないでしょうか。間違えたり、失敗すると、怒られるという認識を持ってしまうと、私たちはどうしても委縮してしまい、失敗や間違いをしないようにしないようにと自分を守ってしまいます。それは本能です。普段から、

失敗も間違いもあって当たり前なんだよ。次は気を付けてみようね。それにはどうしたらいいんだろうねと子どもと一緒に考えたらどうでしょうか？それは夫婦間での会話も、子どもたちは聞いていますので、気を付けましょう。

Q2. 子どもの気持ちに寄り添いたいと思いつつ、自分に余裕がなくなると、きつい言葉をかけたり大きな声を出したり反省することも。どうしたらいい？

ありますよね～。親になっても親自身も一人の人間として生きて、社会生活を送っていますから、余裕がないときや疲れた時、機嫌よくできない時は当然あります。そんな時は、子どもたちは、瞬時のうちに空気を読んで、その場を和ませようと努力します。

機嫌もとってきます。私たちは、けなげな子どもを見ることになります。ちょっと一呼吸置きませんか？それでもダメな時は、その場を離れることもあります。感情に任せて、理不尽な叱り方をしないように、常に考えるようにしましょう。

Q3. 兄弟の上の子に、対応が厳しめになり叱ってしまうこともしばしば。上の子にどんな声かけや対応をするとよい？

私たち親は、子どもの兄弟間での差別をするつもりもないし、していないつもりですが、つい上の子に厳しく、下の子に甘く対応したり、また逆のこともあります。そしてそれを子どもも感じてしまい、後々親子間の確執につながったりすることも多々あるので、こうして気づかれたのであれば、上の子なりに頑張っているんだなあ、たまには思いっきり甘やかしてみてもいいでしょうか。よく三人のお子さんのお母さまから相談があり、真ん中の子の扱いが難しいと言われる。上と下にお母さんの目が行き、真

ん中から目が離れることはありがちですね。その子としては私も見てよ！という気持ちで、目立つことや、叱られるようなこともやっつけてしまいます。そんな時は、真ん中の子(上の子でも下の子でも対応に困っている子ども)だけを連れてお買い物でも、散歩でも出してみてください。手をつないで、ちょっとティーブレイクに二人でアイスでも食べてみませんか？お母さんを独り占めできて、思いっきり甘やかされて悪い気はしませんから、満たされて優しい気持ちの子になります。

Q4. これからの時代を生きる子どもたちはどういった力が求められるのか？これだけは家庭で気を付けて子育てするとよいということはあるですか？

どんな時代になろうと、人は一人では生きていけないので、誰かに助けられ、誰かを助けて社会人として生活しています。そのためにはコミュニケーションは大事で、コミュニケーションツールとしての挨拶や感謝の気持ちを表せるような言葉や態度を身に着けるのは必須で、やはり家庭での役割は大きいです。

ありがとう。ごめんなさい。おはよう。おやすみなさい。行ってきます。行ってらっしゃい。いただきます。ごちそうさま。何気ない会話の中で子どもたちは身につけていきます。普段使わない言葉は、どんな時も使いませんので。家庭の中で、家族間での会話で言葉使いや挨拶をお母さんやお父さんがして見せてください。